

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			定員10名と、指導訓練室のスペースが児童1人当たり2.916㎡と県の基準を超えており、適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			常時4～7名の職員を配置。中高教諭、児童指導員など常中。放デイ指導員加配加算あり。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		玄関・洗面所・キッチンなど、生活動作に支障が出る大きな段差について、ステップを置くなどの配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			PDCAと合わせてOODAを取り入れ、事例検討会を行うなど、職員間での情報共有をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			外部評価アンケートを用いて、利用者（保護者）のニーズや意見を挙げていただき、課題を明確にし、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページ上で公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		今後、第三者委員を通し、意見交換を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			非常勤職員を含め、研修報告会や内部研修を行っている。また、行政や他団体主催の研修へも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者面談やヒアリングを行い、定期的に個別支援計画を見直し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			発達検査(WISC-IVなど)の結果がある場合には提出していただいている。今後、事業所内の職員が実施できるアセスメントツールの利用を検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			非常勤を交えて意見交換を行い、常勤が中心となってプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			新しい活動や行事・イベントを取り入れている。また、運動プログラムを行うなど、様々な支援方法を積極的に取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日は学習や集団での、個々の役割意識を育む活動を行っている。学校が休みの日は公園等へ行き、普段とは違った経験が出来るよう、取り組んでいる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者や本児の要望に寄り添い、目標を設定した個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			活動・支援内容や役割を確認している。状況によっては、担当制にすることで、各役割を遂行することが出来ている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			一日の振り返りを行い、情報や意見を業務日誌に記載している。また特記事項がある際は別途法人内での情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人別に記録を取り、8回の利用毎にPDCAサイクルを使用して、適切な課題を作成している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1回、保護者面談やモニタリングを行い、目標や要望を伺った上で、職員でも検討し、内容の見直しを図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		利用者本人や保護者の意見を伺いながら、安全に配慮して活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者または、常勤職員が参画している。当法人が運営する相談支援事業所とは連携を密にしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		保護者を通して、学習やADLの自立・進捗度の情報共有を行っている。特記事項や諸連絡は常に連携を図っているため、今後はより綿密に情報を共有していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		主治医やかかりつけ院の確認をとり、もしもの時に備え、事前に利用者の情報共有を図っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者を通して、就学前に利用していた事業所での様子などの情報を共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在は相談支援員を通して連携を図っているため、今後は、当事業所から積極的に進路先への情報提供をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門性を向上させている。埼玉県発達障害支援専門研修等に参加しており、今後は全ての職員が参加できるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童館を利用しているので、今後は交流の場を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			越谷市福祉協議会ボランティアセンターからのボランティアの受け入れを行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の申し送りの際や、連絡帳に特記事項を記載して、家庭や学校での様子、事業所での活動の様子の情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			研修を通じ、持ち帰ったものを研修報告会として行い、職員に浸透させている。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要説明事項に基づき、説明を行っている。また、利用開始後も、必要に応じて説明を行っている。

への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談は、職員間で共有し、一緒に考えている。状況や緊急度に合わせて電話や訪問を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			当法人主催の研修会を開催している。今後も、保護者同士の連携を支援できるよう取り組みを行う。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当と解決責任者を重要事項説明書に記載をしている。苦情が発生した際には、職員間で原因を分析し、改善と今後の防止策を考え、迅速に対応できるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			現在3ヶ月に一回会報を発行し、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報等重要なものは鍵付きロッカーに保存している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		利用児や保護者が受けとめやすいよう、伝え方に配慮を行い、送迎時での直接的な申し送りが難しい状況の時は、電話などで伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		設備的に難しい面があるが、今後、親子や地域住民を対象として、感謝祭などのイベントや研修会を検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		対応マニュアルを使い、職員間での周知を行い、もしものために備えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回事業所で防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止ガイドラインに沿って活動しているが、今後も定期的な内部研修を行い、職員間で周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			虐待防止マニュアルを室内に掲示し、職員に喚起している。 保護者様に対しは個別支援計画にその旨を記載し了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの申告のみである為、今後、必要に応じて、指示書の提出をお願いしていきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			利用者別にヒヤリハットを記録している。法人内会議で他事業所との情報共有を行っている。	